

1. 開催日時 令和7年12月10日（水）午後1時10分～午後3時10分
2. 開催場所 西都台小学校 2階 研修室
3. 出席委員 田澤健司、池谷智晴、高部信男、横原広明、稲垣正彦、松下正行、坂下奈生子、吉野好永、辻村悠介、八嶋志帆
4. 欠席委員 なし
5. オブザーバー 野嶋俊之（入野協働センター所長）
6. 学 校 小嶋澄華（校長）、山内剛治（教頭）、大木賢志（教務主任）、和久田里恵（CS ディレクター）
7. 傍聴者 なし
8. 会議録作成者 CS ディレクター 和久田里恵
9. 議長の選出

前回会議にて池谷副会長を推薦いただき、会長も了承、全員異議なくこれを承認した。

10. 協議事項

- （1）令和7年度全国学力・学習状況調査の結果と分析
- （2）令和7年度後期学校関係者評価の結果と分析

11. 会議記録

司会の山内から、委員総数の10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和7年度全国学力・学習状況調査の結果と分析

教務の大木から、別紙資料に基づき結果（6年生対象の学力調査が全国・県・市の平均と比べて高かった。記述問題がやや苦手であること。生活習慣・学習習慣がしっかり身に付いていて、自己肯定感が高いことなど。）の説明をし、委員からは以下の発言があった。

- 算数も理科も文章を読んで問題を解くので、ベースは国語力。国語を大切にしてほしい。
(田澤委員)
- 今年度の結果がとても良かったが、過去5年間の結果の推移を知りたい。良い結果を出すコツはあるのか。(高部委員)
⇒昨年度も国語、算数ともに良く、質問紙も肯定的だった。子供たちと話し合い、協働してより良い授業ができるように、教師間で行っている校内研修の結果が出ているならうれしい。(教務)
- 結果が良すぎて、これに漏れてしまっている少数の子供への対応ができればと思う。(池谷委員)
⇒学習面においては、各担任が休み時間にドリルを見るなど個別のフォローをしている。行動面においては、6年生に限らず全学年が毎週行っている、心のアンケートに自分が困っていることを書くと、担任がきめ細かく対応している。(教務)
⇒今年度から力を入れている「学級づくり」にて、学級会など勉強面以外の場で活躍できる、評価されることにより、自己肯定感を高め、勉強面でも良い影響が出ればと思う。(教頭)
- 日本語が母国語ではない子供の学力やコミュニケーション、成長させていくことへの対応が必要だと思う。(横原委員)
⇒浜松市におけるサポート体制が整ってきている。教育委員会からの支援員や、NPOから派遣されたサポーターなどが、授業に入ってサポートしたり、個別指導を行ったりしている。(学校)
- 将来、大人になったときに日本に来て良かったなと思ってもらえれば、良い国際交流にもなる。また、日本語が難しくても、英語を話してもらえれば活躍の場ができ、他の子供たちにも良い影響を与えることができると思う。(横原委員)
- いじめはどんな理由があってもいけないと思っている子供が100%ということは、いじめは全く

ないということなのだろうか。(松下委員)

⇒トラブルがないかというそうではないが、話をする中で自分のよくなかったことを反省することはできる。(教務)

- いじめは悪いと思っているかいないかが大事で、いじめはどんな理由があってもいけないという質問には、100%の子供が駄目だと思っていないとよくない。(田澤委員・池谷委員)
- 自分の言葉を文字にする機会が昔より減ってきていて苦手なのかなと思う。毎日、自分の気持ちを言葉にして書くなど、日常的に文章を書く習慣ができるといい。文章を書く練習、国語に力を入れてほしい。他の教科の力にもなると思う。(坂下委員・田澤委員)
- 親子での簡単な交換日記であるとか、家庭でもできることがあると思う。(松下委員)
- 読む力も大切。何でもスマホで済ませ、本を読まない子が増えている。(吉野委員)
- 読むこと、書くことなど、自分を表現することが大事。国語的な活動に力を入れてみてはどうかということを、学校運営協議会として提案したい。(池谷委員)

（２）令和７年度後期学校関係者評価の結果と分析

教務の大木から、別紙資料に基づき後期学校関係者評価について説明をした。その後、３つのグループに分かれ、今後力を入れていくべき取り組みや、地域・家庭としてできることについて話し合った。各グループからは以下の発言があった。

【Ａグループ：田澤委員・松下委員・高部委員・坂下委員】

- 学習面でも生活面でも、子供と保護者の評価に差がある。子供たちの頑張りを保護者に丁寧に学校から伝えてほしい。
- 学級会を、コミュニケーションをとる練習の場とし、どんな子でも少しでも発言でき、お互いの良い所を褒め、認め合える場であればと思う。

【Ｂグループ：池谷委員・横原委員・八嶋委員】

- 家庭内でのコミュニケーションが足りないのかなと思う。家庭でも意識して子供と話す時間を作ったり、学校からも子供との時間を作るよう呼び掛けたりして、学校と保護者がより連携できるといい。三者面談の充実や、参観会や懇談会も活用していきたい。
- 子供たち自身はできていると思っている挨拶だが、感謝の気持ちや表現の仕方、気持ちがこもっているかが加わると、更に良い挨拶になるのではないか。
- いじめの問題や友達との付き合い方においても、丁寧な優しい言葉遣いは大切。

【Ｃグループ：稲垣委員・吉野委員・辻村委員】

- 国語力、読む力、読書量を伸ばしたい。
- 挨拶について。校内だと子供から挨拶してくれるが、外でも子供から挨拶してくれるといいなと思う。
- ネットとの付き合い方や、子供の言葉遣いには気を付けたい。

その他報告事項

（学校支援コーディネーター 坂下さんより）

- 夏休み、公民館にて「竹っこひろば」を開催し、子供たちが静かに勉強する場をもてた。来年度は、講師の方を呼んで、子供たちが楽しくワークショップできる時間も作れたらと考えている。
- 志都呂の御神楽を、地域の方を講師に招き、子供たちに披露することができた。
- １２月の放課後の時間に、クリスマスイベントを開催。子供たちにとって、異学年との交流、地域の方との交流という場でもあり、是非、地域の方々をお誘いの上、見守っていただけたらと思う。

司会から、次回会議は、令和８年２月１８日（水）午後１時１０分から西都台小学校２階研修室で、開催する旨の報告があった。